

# 第三国集団研修終了時評価報告書 ～インドネシア共和国 農業普及方法・ 病虫害発生予察・灌漑排水技術～

平成 6 年 6 月  
(1994年 6 月)

JICA LIBRARY  
  
J1123950(6)

国際協力事業団  
研修事業部

研 一
J R
94-028

LIBRARY



第三国集団研修終了時評価報告書  
～インドネシア共和国 農業普及方法・  
病虫害発生予察・灌漑排水技術～

平成 6 年 6 月  
(1994年 6 月)

国際協力事業団  
研修事業部



1123950 [6]

## 序 文

近年、第三国研修については、南々協力推進の観点からもその質の向上と量的拡大が求められており、特にインドネシア国では“アジアのリーダー”としての役割を果たそうという積極的な姿勢が強くみられ、実施に関しても前向きな体制がとられています。

本終了時評価調査は、平成3年度からインドネシア共和国農業省管轄機関のもとで実施された第三国集団研修「病害虫発生予察」「農業普及方法」の両コース、および同国公共事業省管轄機関のもとで実施された第三国集団研修「灌漑排水技術」コースの計3コースが平成7年度に最終年度を迎えるにあたり、過去4年間の協力に対する総合的な評価を行うことを目的に、JICAインドネシア事務所が研修参加国評価調査の結果に基づきインドネシア国内で実施したものです。

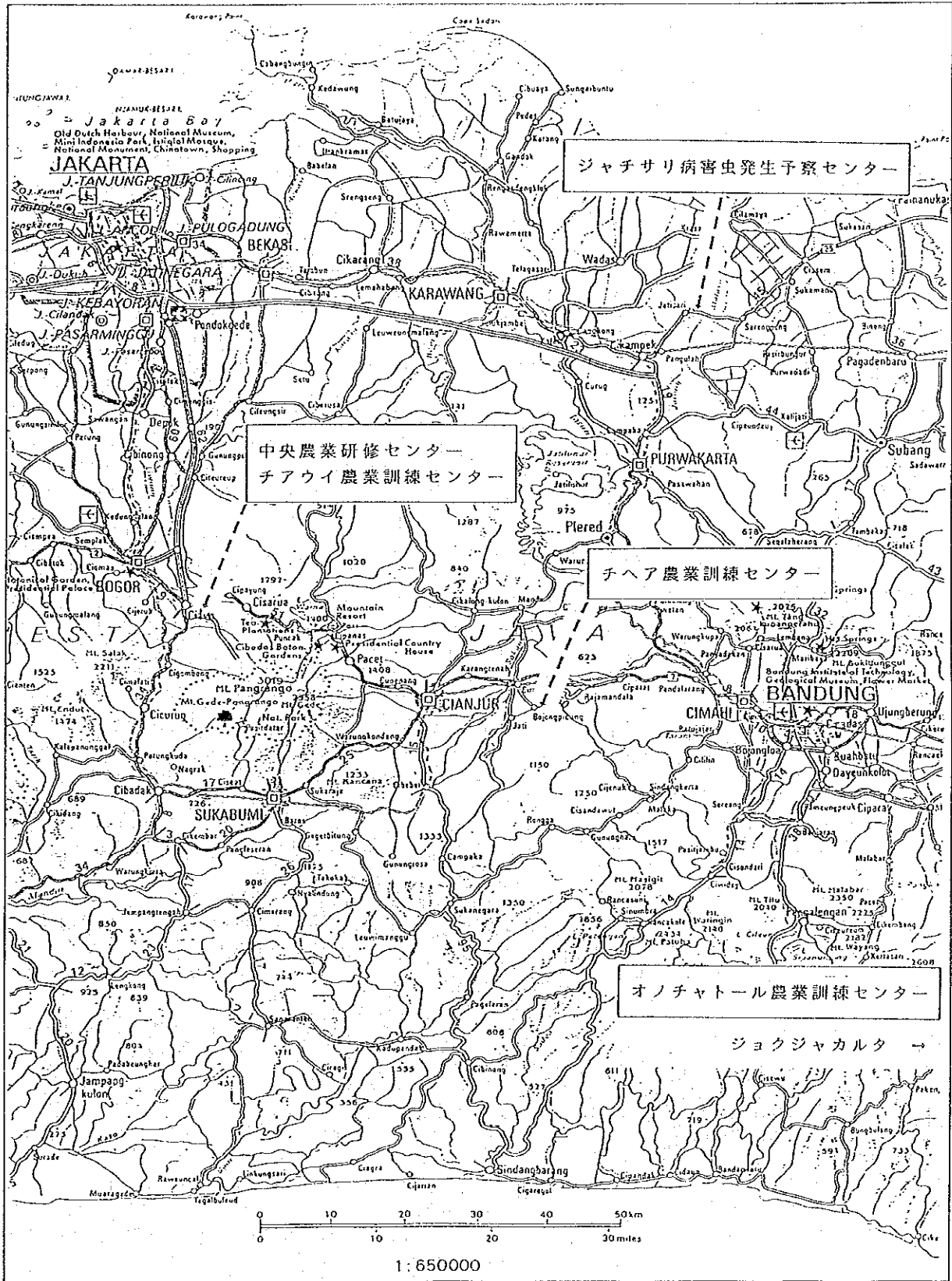
当事業部は、本調査によって得られた教訓・提言が今後の事業実施にあたって有効に活用されることを願う次第です。

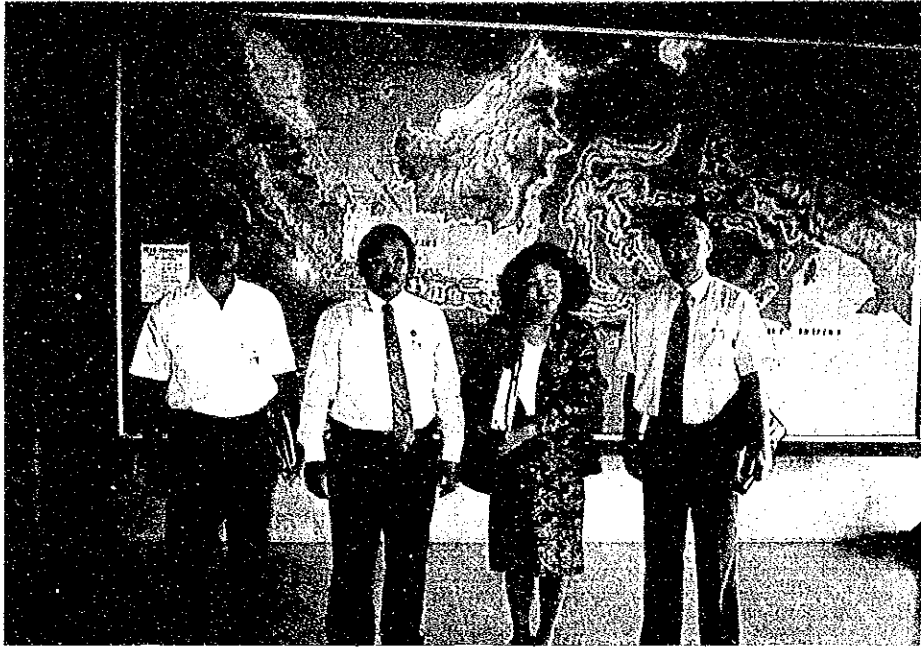
平成6年6月

国際協力事業団  
研修事業部長 庵原宏義



# プロジェクト位置図



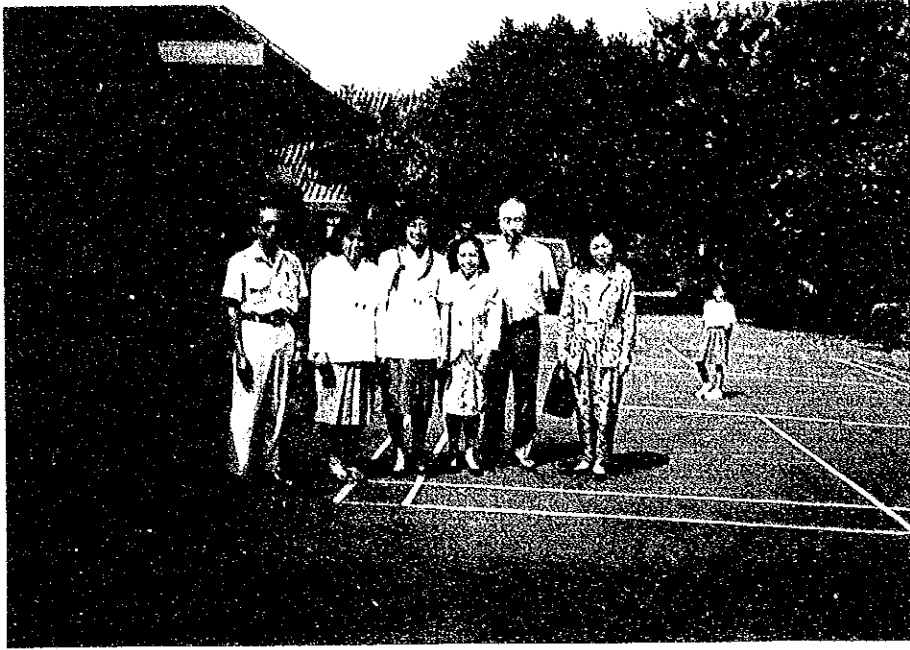


▲ ブカシ灌漑排水施工技術センターで



▲ ジャチサリ病害虫発生予察センターで





▲ チアウイ農業訓練センターで



▲ SECCAB (内閣官房技術協力局) でミニッツ署名

# 目 次

序文	
プロジェクト位置図	
写真	
I 総 論	
第1章 終了時評価調査団の派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査期間・日程	2
1-4 主要面談者	3
第2章 評価方法	5
II 各 論	
第1章 研修コース設定	6
1-1 コース設定の経緯	6
1-2 調査対象案件	7
第2章 インドネシア事務所調査内容	10
2-1 調査団の構成	10
2-2 調査方法	10
2-3 調査報告	10
第3章 評価調査団調査内容	16
3-1 関係機関と面談結果	16
III 総 括	
今後の協力方針と課題	19
資料	
1 ミニッツ	23

# I 総論

## 第1章 終了時評価調査団の派遣

### 1-1 調査団派遣の経緯と目的

A S E A Nと太平洋諸国を対象に農業分野「病害虫発生予察」「農業普及方法」「灌漑排水技術」の3コースの第三国集団研修を1990（平成2）年度から実施しており、本終了時評価調査団は過去3年間のコース内容・運営内容を評価するとともに、1995年度以降の協力継続の可否を判断する材料を得ることを目的に派遣されたものである。

なお、本終了時評価調査は、J I C Aインドネシア事務所が派遣したタイ、スリ・ランガ、インドへの3評価チームとインドネシアでのコンサルタントによる評価報告をもとに総括的に評価したものである。

具体的には以下の点につき調査を実施した。

- (1) 関係機関の訪問および視察
- (2) インドネシア事務所が派遣した3チームの作成した報告書を入手し、内容を分析するとともに、過去3年間（1990～92年度）の協力期間における目的達成度、研修効果、研修実施体制などについて総括、評価をする。
- (3) 上記3コースに関し、インドネシアに対する今後の協力方針につき協議し、合意事項を取りまとめたミニッツに署名、交換する。

### 1-2 調査団の構成

- |            |       |                   |
|------------|-------|-------------------|
| (1) 団長（総括） | 長倉 孝  | 国際協力事業団研修事業部次長    |
| (2) 団員（評価） | 椎名のり子 | 国際協力事業団研修事業部研修第一課 |

1-3 調査期間・日程

1994年3月23日(水)～4月1日(金) 10日間

月	日	曜	内 容	宿 泊 地
3	23	水	13:00 18:40 移動(東京——ジャカルタ) JL725	ジャカルタ
	24	木	9:00 JICA事務所打合せ 10:00 大使館表敬 11:00 SECCAB表敬・打合せ	ジャカルタ
	25	金	8:30 「灌漑排水」灌漑排水施工技術センター視察 (BEKASI) 11:00 「病害虫」病害虫発生予察センター視察 (JATISARI) 15:00 JICA事務所打合せ	ジャカルタ
	26	土	8:00 「農業普及」農業訓練センター視察(CIAWI)	ジャカルタ
	27	日	10:00 11:00 移動(ジャカルタ——ジョグジャカルタ) GA434	ジョグジャカルタ
	28	月	8:30 「農業普及」農業訓練センター視察 (JOGJAKARTA) 15:15 16:15 移動(ジョグジャカルタ——ジャカルタ) GA441	ジャカルタ
	29	火	9:00 合同評価(SECCAB) 15:00 ミニッツ署名(SECCAB)	ジャカルタ
	30	水	19:00 団長主催レセプション(プレジデントホテル)	ジャカルタ
	31	木	15:00 JICA事務所報告 21:45 移動(ジャカルタ	機中
4	1	金	JL726 06:15 東京)	

1-4 主要面談者

(1) 日本大使館

川本憲一 : 一等書記官 (農業分野)

(2) 内閣官房技術協力局 (Cabinet Secretariate: SECCAB)

Mr. Moersalin Parindury

: Head, Bureau for International Technical Cooperation

Drs. Adik Bantarso

: Head, Technical Cooperation between Developing and ASEAN  
Division

Drs. Suprpto : Head, Sub-Division of Indonesia TCDC Programme

(3) 公共事業省 (Ministry of Public Works)

Mr. Kaman Moch. Mämun

: Project Manager, Construction Guidance Service Center,  
Bekasi (CGSC), Directorate General of Water Resources  
Development (DGWRD)

Mr. Kamran Erang : Chief, Training Section, CGSC, DGWRD

Mr. Hutagalung : Chief of Technical Section, CGSC, DGWRD

Mr. Suwardi : Chief of Administration Section, CGSC, DGWRD

(4) 農業省 (Ministry of Agriculture)

Ir. Sjamsuddin Abbas

: Director General, Agency for Agriculture Education and  
Training (AAET)

Ir. H. Amrin Kahar

: Director General, Directorate General of Food Crop  
Agriculture (DGFCFA)

Drs. Amrin Zakaria

: Director, Bureau of Agriculture Personnel Training, AAET

Ir. J. Ekowarso : Director, Directorate of Food Crop Protection (DFCP),  
DGFCFA

Mr. Yusmin, M. Sc.

: Head, Section for Climate and Weather, DFCP, DGFCFA

Ir. Djedjeh Hadidjah, M. Ed.

: Sub-Division of TCDC, Bureau of Agriculture Personnel

Training, AAET

Mr. Deddy : Sub-Division of TCDC, Bureau of Agriculture Personnel  
Training, AAET

Mr. Memed Haryana : Staff, DGPCA

Mr. Mustaghfirin : Pest Forecasting Center, Jatisari

Mr. Erma Budiyanto  
: Coordinator, Pest Forecasting Center, Jatisari

Mr. Joko Priyono : Pest Forecasting Center, Jatisari

Mr. Firdaus Natanegara  
: Pest Forecasting Center, Jatisari

Mr. Sugandhi Laenudin  
: Pest Forecasting Center, Jatisari

Ir. Budiharyati R. M. Sc.  
: Director, Agency for Agricultural Training and Education,  
Inservice Training Center, Ciawi

Ir. Sumarni : Coordinator, Agency for Agricultural Training and  
Education, Inservice Training Center, Ciawi

Mr. Subangkit M. Sc.  
: Agency for Agricultural Training and Education,  
Inservice Training Center, Ciawi

Ms. Syamsiah Mardjuki Ma.  
: Agency for Agricultural Training and Education,  
Inservice Training Center, Ciawi

Mr. Rasimin : Chief of General Affairs Division, Agriculture  
Inservice Training Center, Wonocatur

Mr. Bambang Eddy Iswanto  
: Staff, Agriculture Inservice Training Center, Wonocatur

(5) JICA インドネシア事務所

岡崎剛一郎 : 所長

斉藤直樹 : 次長

高田裕彦 : 所員

Mr. Ahmad Djanan : 所員

## 第2章 評価方法

本コースに対する評価は、インドネシア事務所が実施した帰国研修員や関係機関等に対するアンケートの集計結果および研修参加国へ派遣した調査団の報告内容に基づき、本調査団がインドネシアにおける各コース実施機関や関係省庁との協議や現地視察を経て評価を行ったものであり、コース継続に対する今後の可能性や必要性を検討するものである。

## Ⅱ 各 論

### 第1章 研修コース設定

#### 1-1 コース設定の経緯

##### (1) 病虫害発生予察

農業普及法の研究開発と並んで途上国で問題となっているのは、病虫害の発生予察技術である。単一種栽培が多い途上国では、病虫害による被害は重大なものとなるおそれがあり、各国とも発生予察技術に対するニーズは高い。わが国は、1980年から1992年までプロジェクト方式技術協力として「作物保護強化計画」を実施し、インドネシアの発生予察技術の向上に協力するとともに1985年、86年、87年には、無償資金協力として発生予察センター、食糧作物保護センター、発生予察実験所を建設するなど、本件分野に関する技術移転を進めてきた。こうした経過を踏まえ、インドネシア側は他の途上国にも発生予察技術を移転したいとして、第三国研修の実施を要請してきた。

これに基づき1990年6月事前調査団を派遣した結果、同年10月22日R/D署名となり、1990（平成2）年度から5年間第三国集団研修を実施することとなった。

##### (2) 農業普及方法

開発途上国の主要産業である農業分野の振興に関しては、灌漑排水の普及、整備やポストハーベスト技術の開発などが必要である。なかでも農業従事者を直接対象とした農業技術の普及活動は、農業生産性を高めるうえで欠かすことのできない技術である。しかしながら、農業普及法の研究開発は、途上国の多様な条件に即したものとする必要があるため（適正技術開発）、比較的困難なものとしてきた。わが国は、1979年から88年までインドネシアに対して「中堅農業技術者養成計画」プロジェクトを実施、農業普及法に関する画期的な方法を開発、技術移転することに成功した。

インドネシア政府はこの成果を踏まえ、これを他の途上国にも移転したいとして第三国研修の実施を要請してきた。

これに基づき1990年6月事前調査団を派遣した結果、同年10月22日R/D署名となり、1990年度から5年間第三国集団研修を実施することとなった。



(3) 灌漑排水技術センター

食糧の増産と安定供給は大きな課題で、とりわけ灌漑網の整備を中心とした農業基盤整備の拡充に努めることが肝要である。

しかしながら、当該分野の技術者・技術力の不足は、灌漑の新規開発はもとより、水利施設の整備を進めるうえでネックとなっている。本コースは、灌漑排水施工技術センターに対する無償資金協力、プロジェクト方式技術協力による技術移転をベースに、以上のような途上国の現状に対応すべく実施する運びとなったものである。

1985（昭和60）年度に第Ⅰフェーズを、1990年6月7日のR/D署名により1990年度からは、協力期間を延長して、第Ⅱフェーズとして5年間の第三国集団研修を実施することとなった。

1-2 調査対象案件

	病虫害発生予察	農業普及方法	灌漑排水技術
(1) 総括機関	内閣官房技術協力局 (SECCAB)	内閣官房技術協力局 (SECCAB)	内閣官房技術協力局 (SECCAB)
(2) 所属省	農業省	農業省	公共事業省
(3) 実施機関	病虫害発生予察センター	農業訓練センター	灌漑排水施工技術センター
(4) 研修場所	ジャチサリ	チアウイ	ブカシ
(5) R/D署名	90年10月22日	90年10月22日	90年6月7日
(6) 研修期間 (93年度)	93.11.1～ 93.12.14 (44日間)	93.11.2～ 93.12.17 (46日間)	93.11.9～ 93.12.11 (33日間)
(7) 実施回数 (93年度末現在)	4回	4回	4回
(8) 定員	20名 周辺国 15名 実施国 5名	20名 周辺国 16名 実施国 4名	20名 周辺国 12名 実施国 6名
(9) 割当国	バングラデシュ、カンボディア、インド、ラオス、マレーシア、ネパール、パキスタン、フィリピン、スリ・ランカ、タイ、ヴェトナム、ブルネイ、パプア・ニューギニア、ブータン、シンガポール (17カ国)	バングラデシュ、カンボディア、インド、ラオス、マレーシア、ネパール、パキスタン、フィリピン、スリ・ランカ、タイ、ヴェトナム、フィジー、パプア・ニューギニア、トンガ、西サモア、ソロモン諸島 (15カ国)	バングラデシュ、カンボディア、インド、ラオス、マレーシア、ネパール、ブータン、パキスタン、フィリピン、スリ・ランカ、タイ、ヴェトナム、ブルネイ、パプア・ニューギニア、中国 (15カ国)

(10) 資格要件

① 病害虫発生予察

- a. 所定の方式に従って政府の推薦を受けている。
- b. 大学卒業または同等の学力を有する。
- c. 植物保護に精通している。
- d. 3年以上の経験を有する。
- e. 45歳以下である。
- f. 英語力を有する。
- g. 心身ともに健康である。
- h. 招待する国の市民である。

② 農業普及方法

- a. 所定の方式に従って政府の推薦を受けている。
- b. 大学卒業または同等の学力を有する。
- c. 農業普及者の訓練に従事している。
- d. 3年以上の経験を有する。
- e. 45歳以下である。
- f. 英語力を有する。
- g. 心身ともに健康である。
- h. 招待する国の市民である。

③ 灌漑排水技術

- a. 所定の方式に従って政府の推薦を受けている。
- b. 大学卒業または同等の学力を有する。
- c. 灌漑排水技術に従事している。
- d. 5年以上の経験を有する。
- e. 45歳以下である。
- f. 英語力を有する。
- g. 心身ともに健康である。
- h. 招待する国の市民である。

(11) カリキュラム

カリキュラムは講義、視察から構成される。主体は講義で、講義内容を実地に確認するために視察が組み込まれた。講義は理論のみにとどまらず設備の実態に即して保守、運用等実務的な要素をあわせ持つものである。

研修ニーズの変化には、技術革新やその時々各国の事情を反映させたトピックを選

択し、そのつど教材を作成することにより対応している。

(12) 両国政府の役割分担

研修実施においてJICAは必要に応じて講師の派遣などの支援を与えるが、本来第三国研修はインドネシア側が主体的に取り組むものであるとして補完的なものに限定してきた。インドネシア側の役割分担では3コースともにカリキュラム作成、G、Iの作成、講師の確保、宿泊先、航空券の手配など研修実施にかかわる業務運営面、コース運営業務等実質的な部分は各コースの実施機関が担当し、要請書の接到、研修員への受入れ可否連絡等対外的な窓口機能を外務省が果たした。

## 第2章 インドネシア事務所調査内容

### 2-1 調査団の構成

- (1) インド 1994年2月1日～2月5日(5日間)
- Mr. Amrin Zakaria 農業省農業教育訓練庁訓練局長  
Mr. Kaman Moch 公共事業省灌漑排水施工技術センター  
プロジェクトマネージャー  
Mr. Janan JICAインドネシア事務所所員
- (2) スリ・ランカ 1994年1月24日～1月28日(5日間)
- Mr. Kamran Erang 公共事業省灌漑排水施工技術センター訓練課長  
Mr. Memed Haryana 農業省作物保護総局職員  
Mr. Muman JICAインドネシア事務所所員
- (3) タイ 1994年1月24日～1月28日(5日間)
- Mr. Suprpto 内閣官房技術協力局TCDCプログラム係長  
Mr. Yusmin 農業省天候課長  
Ms. Shanti JICAインドネシア事務所所員

### 2-2 調査方法

- (1) 関係機関の訪問および協議
- (2) 帰国研修員との面接
- (3) 関係機関および帰国研修員へのクエスチョネア送付・回収・集計

### 2-3 調査報告

調査内容の詳細は、JICAインドネシア事務所作成の報告書“Evaluation Study on TCDC Programme in The Fields on 1. Irrigation and Drainage Engineering 2. Agricultural Extension Methodology 3. Pest Surveillance and Forecasting” (英語版)にまとめられているので参照願いたい。ここでは抜粋として「コース概要」「インタビュー結果要約」「結論と勧告」を以下に掲載することとする。

(1) コース概要

項目	研修科目	灌漑排水技術	農業普及方法	病虫害発生予察
実施期間	第一回：1990.11.6 ～ 1990.12.8 第二回：1991.11.12 ～ 1991.12.14 第三回：1992.11.17 ～ 1992.12.19	第一回：10 (海外) 第二回：8 (海外) 第三回：12 (海外)	第一回：1991.1.28 ～ 1991.3.12 第二回：1992.1.13 ～ 1992.2.26 第三回：1992.11.5 ～ 1992.12.18	第一回：1991.1.28 ～ 1991.3.3 第二回：1992.1.5 ～ 1992.2.18 第三回：1993.1.11 ～ 1993.2.23
実施機関	公共事業省水資源総局 (灌漑排水施行技術センター)	農業省農業教育訓練庁 農業訓練局	農業省食用作物総局 食物保護局	農業省食用作物総局 食物保護局
参加人数	第一回：10 (海外) 第二回：8 (海外) 第三回：12 (海外)	第一回：14 (海外) 第二回：12 (海外) 第三回：13 (海外)	第一回：14 (海外) 第二回：12 (海外) 第三回：13 (海外)	第一回：10 (海外) 第二回：11 (海外) 第三回：8 (海外)
日本人専門家数	第一回：2人 第二回：1人 第三回：2人	第一回：1人 第二回：1人 第三回：1人	第一回：1人 第二回：1人 第三回：1人	0人
研修場所	灌漑排水施工技術センター Construction Guidance Service Center (CGSC) Jl. Cut Mutiah Kotak Pos 47, BEKASI  Phone 021-8801344, 8801345 Fax. 021-8801364	(1) 農業訓練センター Agricultural Inservice Training Center (AITC) Ciawi PO Box.26 CIAWI, WEST JAVA  (2) チヘア農業訓練センター Agricultural Inservice Training Center (AITC) Cihea PO Box.1 Giranjang, Cianjur, WEST JAVA  (3) ウォノカチエ農業訓練センター Agricultural Inservice Training Center (AITC) Wonocatur PO Box.31, YOGYAKARTA	病虫害発生予察センター Pest Forecasting Center (PFC) Kotak Pos No.1 Jatisari Karawang, WEST JAVA 41374	
研修施設	教室、寮、研究室 他	教室、寮、研究室 他	教室、寮、研究室 他	教室、寮、研究室、図書館 他
目的	コース修了後、以下の点における知識習得および技術改善を可能とする： 灌漑排水技術、建設計画管理、リモートセンシング技術、灌漑排水計画における環境影響評価、低地域開発のための土地造成、灌漑水管理 他	コース修了後、以下の点における知識習得および技術改善を可能とする： 1) 早急な技術移転のための普及訓練手法 2) インドネシア国における農業の開発、特に農業普及方法についての記述 3) アジア・太平洋地域における農業普及方法についてのさまざまな考えと経験の説明	コース修了後、以下の点における知識習得および技術改善を可能とする： 1) 農作物生産分野における害虫管理の一環としての病虫害発生予察の発展と応用の促進 2) 各自の国における害虫抑制活動の評価 3) 各自の国における一貫した害虫管理について、各状況に応じた知識と技術の移転	

講師数	内部：26人 外部：5人	内部：12人 外部：16人	内部：15人 外部：8人
経費	内部側 第一回：Rp. Rp. 76,020,000 第二回：Rp. Rp. 86,480,260 第三回：Rp. Rp. 95,870,423	内部側 第一回：Rp. Rp. 129,068,055 第二回：Rp. Rp. 125,373,791 第三回：Rp. Rp. 152,172,856	内部側 第一回：Rp. Rp. 78,288,763 第二回：Rp. Rp. 112,158,477 第三回：Rp. Rp. 118,028,064
運営管理状況	良好	良好	良好

(2) インタビュー結果要約

回答者	訪問国	タイ	スリ・ランカ	インド
<p>帰国研修員</p>	<p>帰国研修員からの提言： 1) 大使館からの受入回答にはセンターの名前と所在地も書いておくべきで、研修員、特にG Iを入手していない者にとっては大変重要である。 2) 講義内容は大学などで習っているものも多いため短縮し、実技を増やすと同様に、ケーススタディについて論議する場の増加を希望。 3) 比較研究の場としてより多くのデータと知識を得るため、可能であれば研修旅行はインドネシア国内だけでなく先進国（日本）でも実施するべき。もし先進国が無理であれば、近隣諸国での実施を希望。 4) コース期間が6週間であることについては原則的には良いが、プログラムの期間は1カ月でも良いと思われる。 5) 特別の状況においては、民間からも各分野からの講師を呼んで欲しい。（すべての講師を政府関係者からというのではなく） 6) 研修・宿泊施設については適当と思われるが、Cinema寮については改善されるべき点がある。 7) 研修期間中、大学の見学もアレンジしてもらえたと更に良い。 8) 事務所職員と話し合う機会や、農業民と接触する機会を増加して欲しい。</p>	<p>帰国研修員からの提言： 1) 特別な課題について論議するため、他の発展途上国からも講師を招いて欲しい。 2) 研修旅行について、インドネシア国内だけでなく他の発展途上国や、もし可能であれば日本でも実施して欲しい。</p>	<p>帰国研修員からの提言： 1) 国際機関と比較して研修員の手当を増やすとともに、彼らの働いている場所からコミュニケーション国際空港までの航空料金を配慮して欲しい。 2) 発展途上国、特に研修員参加国からゲストとして講師を招いて欲しい。</p>	<p>「灌漑排水技術」「農業普及方法」「病虫害発生予防」の各コースはインド政府にとって有効である。 2) インド政府はそれらのコースに継続して研修員を送りたいと望んでいる。 3) 研修員選考手続きに時間がかかっている。 4) コース実施の5カ月前にG Iをインド国へ送付願いたい。</p>
<p>帰国研修員同窓会</p>	<p>1) コースの期間は1カ月以上必要ない。 2) 研修方法、特にプログラム運営の方法と手段に関して改善して欲しい。</p>	<p>1) 研修のカリキュラムは良い。 2) G Iは、コース実施の3〜4カ月までにスリ・ランカのそれぞれの関連機関に届くようにしてほしい。 3) これらのコースはスリ・ランカの現状に合っており、同国には今尚多くの志願者がいるため、コースが今後も継続されることを期待する。 4) 発展途上国間における相互の経験や技術の交流を拡大、促進させるため、他の発展途上国から講師を招き、特別な</p>	<p>1) 「灌漑排水技術」「農業普及方法」「病虫害発生予防」の各コースはインド政府にとって有効である。 2) インド政府はそれらのコースに継続して研修員を送りたいと望んでいる。 3) 研修員選考手続きに時間がかかっている。 4) コース実施の5カ月前にG Iをインド国へ送付願いたい。</p>	<p>1) 「灌漑排水技術」「農業普及方法」「病虫害発生予防」の各コースはインド政府にとって有効である。 2) インド政府はそれらのコースに継続して研修員を送りたいと望んでいる。 3) 研修員選考手続きに時間がかかっている。 4) コース実施の5カ月前にG Iをインド国へ送付願いたい。</p>

		<p>課題について話し合うことを提案したい。</p> <p>5) 研修場所は、インドネシア国内だけでなく、他の発展途上国や日本でも実施して欲しい。</p>	
<p>研修員選考機関</p>	<p>これまで、選考指名日の約1カ月までにD T E C に送られてきたプログラムが3コースある。通常、タイ政府及び関連機関は指定期日に対応してきたが、3カ月以上前に可能か否かを検討願いたい。</p> <p>D T E C は研修3コースにおける参加に対し、インドネシア政府と J I C A に受け入れられたことを感謝しており、インドネシア政府と J I C A が実施するコースに同国職員を研修員として引き続き参加させたい。</p>	<p>1) G I は少なくともコース開始3カ月前までに D E R に送って欲しい。</p> <p>2) G I は5部以上、できれば10部送って欲しい。</p> <p>3) スリ・ランカからより多くの研修員を受け入れるため、第三国研修コースを今後も継続して欲しい。</p>	<p>(調査団 面会不可能)</p>
<p>インドネシア国大使館</p>	<p>1) インドネシア国政府からの T C D C プログラムについての公式情報が、在タイ国インドネシア国大使館に伝わっていない。</p>	<p>1) スリ・ランカからの第三国研修の参加数を増やして欲しい。</p> <p>2) インドネシア国政府からの T C D C プログラムについての公式情報が、在スリ・ランカ国インドネシア国大使館に円滑に伝わっていない。</p> <p>3) 可能であれば、G I はコース開始の3～4カ月前までに受け取りたい。</p>	<p>「農業普及方法」「病害虫発生予察」「灌漑排水技術」はインド国における各分野の専門家の需要に見合っている。これは経済発展による近代化の結果であり、この需要はさらに増えると思われるため、インド国政府が毎年研修員を送り出す理由とも考える。これらのコースが今後も継続されることを希望する。</p>



(3) 結論と勧告

項目	コース名	灌漑排水技術	農業普及方法	病害虫発生予察
結論		<p>1) コースの目的が効果的に達成されている。 2) 実施組織の管理・運営については良好である。 4) カリキュラムは丁度良い。</p>	<p>1) コースの組織が良くまとまっている。 2) 実施機関の管理・運営については全体的に良い。 3) 設備とサービスについては良い。</p>	<p>1) 全体的に見てコースの管理・運営は良いが、いくつかの点については改善が必要。 2) コースの全体的な管理については良い。 3) コースの設備とサービスについては良い。 4) カリキュラムは丁度良い。</p>
勧告		<p>1) 参加者が十分な時間をもって準備できるよう、GIはできるだけ速やかに用意されるべき。 2) 研修旅行期間は、現場視察を遂行できるよう、できるだけ長く許可されるべき。 3) 研修員がコンピュータや図書館、研修室を使用できる機会をもう少し増やすべき。 4) 講師は各講義において、経験談をおりまぜて話すべき。 5) 講義内容は、より実践に役立つものであるべき。 6) 講師も研修員も英語が自在に使えるべき。</p>	<p>1) カントリレポートのガイドラインは志願者のために前もって通知すべき。 2) 指導者は特定テーマにおいて精通していると共に、英語力を身につけているべき。 3) 指導者による指導方法に、改善されるべき点がある。 4) カントリレポートのための時間配分を増やすべき。 5) 娯楽設備（テレビ、ビデオ、室内ゲーム、英語雑誌等）も定期的に必要。 6) バスにエアコン、ラジオカセット、音響設備を備えるべき。</p>	<p>1) 研修員にとって、害虫予察や警告システムの可能性に関する情報をもっと必要。 2) 議論する時間や、実地・研究室での実習、クラス実験の時間をもっと必要。 3) コンピューター・シミュレーション・モデル、害虫発生に関するデータ収集やその分析も、科目に含まれるべき。 4) インドネシア語の簡単な日常会話の準備が必要。 5) 質疑応答における誤解を避けるべく、研修担当者またはコーディネーターは常に講義に同席すべき。 6) 研究課題に関する本と雑誌を備えた図書室が必要。 7) 指導者の指導技術と表現技術の向上及び研修員の学習過程を改善するため、より多くの想像覚設備を使用する必要がある。 8) 研修員の弱点と強点を知るためのベンチマークテストを行うべき。それによって講師は大部分の研修員に有用な講義を準備することができ。</p>

## 第3章 評価調査団調査内容

### 3-1 関係機関と面談結果

#### (1) JICAインドネシア事務所

① 1992（平成4）年度にタイ、マレーシア、フィリピンに評価調査団を派遣しており、その結果次のような情報を得ている。

- ・日本からではなく参加国から専門家を受け入れてみたい。
- ・帰国後の帰国研修員によるDistributionには限界があるのでコースを継続してほしい。
- ・帰国研修員同士の情報交換のためネットワークシステムが必要であり、ニューズレター発行に際し、JICAによる資金的サポートを希望する。

② 今回の事務所調査では、調査団派遣国以外の他参加国にもクエスチョネアを送付しているが、他の第三国研修評価調査同様、現時点では未回答状態である。

しかし、コース終了時に参加研修員から毎回アンケートをとっているが、その結果毎回好評であり、また各関係機関からの本第三国研修に対する評判も非常によく、ぜひ継続を希望したい。

なお、上述の未回答国のコースニーズは、各国からの毎回の応募状況から判断して、高いものがあると理解できる。

#### (2) 内閣官房技術協力局（SECCAB）

① 3カ国での評価調査の結果および帰国研修員の評価からしてもぜひ継続してほしい。

② 第三国研修実施に際し、SECCABとしても全面的な協力をしたい。

#### (3) 灌漑排水施工技術センター……「灌漑排水技術」コース

① 本コースは第三国研修における日本・インドネシア両国のよいサンプルとして開始・実施されたもので、第Iフェーズを含むと1993年度末で9年目の実績を有する。

② 同センターは、公共事業省水資源総局の管理下にあり、アフリカを含む各国からの研修員の受入れに対応できる施設・能力があり、本コース参加者は今年度で総勢137名（うちインドネシア人51名、外国人86名）となっている。また、51名のインドネシア人は21州から参加しており、本コースに関する情報が幅広く伝達されるとともにインドネシア国内においても本コースのニーズが大きいことを意味している。

③ 参加者の交通費に関しては、首都からの航空運賃のみならず国内交通費をJICAで負担してほしい。

- ④ 第三国研修専門家を日本のみならず、特別分野においては参加国から受け入れた  
い。
- (4) 病害虫発生予察センター……「病害虫発生予察」コース
- ① 参加者のなかには、博士課程修了者や同センターでの講師よりも高齢者が多いが、  
第三国研修実施は情報・意見交換の場でもあり、非常に楽しく運営している。
- ② コース参加者からの意見としては少数ながら、研修先として大学での実習を希望  
する者もいる。
- ③ 同センターは70名のスタッフから構成されているが、年齢層が平均して非常に若  
く、第三国研修実施に関しても、比較研修の場として他国を訪問する機会を得たい。
- \* 1 本調査団面会時に対応したメンバーも全員が非常に若く、センター内で3番  
目の地位にあるMr. Ermanも30代前半であった。
- \* 2 コースの運営者のほぼ全員が訪日しており、センター全体が親日家の集合体  
のようなムードであった。
- (5) 農業訓練センター（チアウイ）……「農業普及方法」コース
- ① 同センターは地域的には非常に気候に恵まれ、参加研修員にとっても大変過ごし  
やすい条件を備えている。
- ② 同センタースタッフの多くが女性であり、食事にも各国のメニューを用意するな  
ど、研修実施に際し可能な限りの配慮をしている。
- ③ 「研修期間」に関しては、参加者のバックグラウンドにより相異なるが、全般的  
には「現状が妥当」と判断される。
- ④ 「年齢」に関しては、G. Iより多少幅広く受け入れているが、実施上問題はな  
い。
- \* 1 本調査団面会時に対応したメンバーも全員が女性であり、宿泊施設の清掃も  
完璧になされ、センター内全体に女性らしい配慮があふれていた。
- \* 2 同センターでは、訪日者が数名しかおらず、面接者の全員がJICA研修  
（一般研修）の詳細を承知しておらず、情報が中央すなわち農業省本省に集約  
されているようすが伺われた（JICA研修のシステムについては説明済み）。
- (6) 農業訓練センター（ジョグジャカルタ）……「農業普及方法」コース
- ① 同センターは60名のスタッフからなっているが、本コースの運営に関してはジャ  
カルタで作成されたカリキュラムに従って研修している。
- ② 同センターでは、年間約20コースの研修を実施しており、本第三国研修実施に際  
しても問題はない。
- ③ 研修機関のスタッフとして技術・知識の向上を目的にJICA研修を希望してい

るが、農業省本省から情報が届かず、実現性が乏しい。

\*1 上述(5)の\*2と同様。

### Ⅲ 総 括

#### 今後の協力量針と課題

今回の評価調査の結果、3コース実施機関である「病害虫発生予察センター」「農業訓練センター」「灌漑排水施工技術センター」は、研修実施機関として組織的・技術的に十分な能力を有しており、また帰国研修員からも高く評価されていることが確認された（インドネシア事務所作成報告書でコース継続に関する要望がP.33,7.1に記載されている）。

本3コース実施機関はともに継続を希望している。また第三国研修総括窓口である内閣官房技術協力局（SECCAB）も継続を強く希望するとともに、本コースに対するさらなる支援体制を言明しており、開発途上国のリーダーをめざすインドネシア国としても、今後もその実現に対して意欲的な姿勢をとり得るものと想定される。

最後に、インドネシアでは農業は技術協力の重点分野であること、またアジア・太平洋諸国で本コースへのニーズが非常に高いことから、本コースの第三国研修の継続は今後必要と思われる。



# 資 料





**MINUTES OF MEETING  
BETWEEN THE JAPANESE EVALUATION TEAM AND  
THE REPRESENTATIVE OF CABINET SECRETARIAT  
ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMMES IN THE  
FIELD OF "PEST SURVEILLANCE AND FORECASTING",  
"IRRIGATION AND DRAINAGE ENGINEERING" AND  
"AGRICULTURAL EXTENSION METHODOLOGY"**

The Japanese Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Takashi NAGAKURA, visited the Republic of Indonesia from March 23 to 31, 1994 for the purpose of evaluating the training courses in the Agricultural fields : Pest Surveillance and Forecasting at the Pest Forecasting Center, Jatisari; Irrigation and Drainage Engineering at the Construction Guidance Service Center, Bekasi; and Agricultural Extension Methodology at the Agency for Agricultural Education and Training, Inservice Training Center, Ciawi (hereinafter referred to as "PSF", "IDE", "AEM") under the Third Country Training Programme of JICA which has been carried out since the Japanese Fiscal Year 1990.

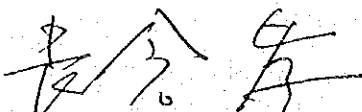
During their stay in Indonesia, the Team had a series of meetings with the representatives of Cabinet Secretariat, Republic of Indonesia (hereinafter referred to as "SECCAB") Ministry of Agriculture, and Ministry of Public Works with respect to the progress and achievement of the courses.

As a result of the meetings, both parties shared the view that the course had contributed to the development of knowledge, skills and experiences in the field of agriculture among the Asia and Pacific countries.

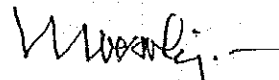
During the meetings, SECCAB requested the extension of the Courses under the Third Country Training Programme of JICA. The Team promised to convey the request to the authorities concerned of the Government of Japan and requested the Government of Indonesia to submit officially the proposals in due course.

A list of the attendants to the meetings is attached as Appendix I. A summary report based on the meetings is attached as Appendix II.

Jakarta, March 29, 1994



Mr. Takashi NAGAKURA  
Head of the Japanese  
Evaluation Team,  
Japan International  
Cooperation Agency  
(JICA)



Mr. M. Moersalin Parindury  
for Head of Bureau for  
International Technical  
Cooperation, Cabinet  
Secretariat, Republic  
of Indonesia.

APPENDIX I : LIST OF ATTENDANTS

APPENDIX II : SUMMARY REPORT

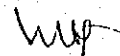
**I BACKGROUND**

**II ITEMS OF EVALUATION**

**III EVALUATION**

1. Course Needs
2. Attainment of Course Objectives
  - (1) Inputs
    - a. JICA Input
    - b. Indonesia Input
  - (2) Outputs
    - a. Accepted Participants
    - b. Attainment of Course Objectives
3. Adequacy of Initial Plan
  - (1) Course objectives
  - (2) Duration
  - (3) Qualification of Applicants
  - (4) Number of accepted participants and invited countries
  - (5) Curriculum
  - (6) Lecturers
4. Administration and Management
  - (1) Implementing measures by Indonesian side
  - (2) Course Conduct
    - a. Lecturers
    - b. Training facilities and equipment
    - c. Training materials
    - d. Modification of Curriculum

**IV. CONCLUSION AND RECOMMENDATIONS**



APPENDIX I

LIST OF ATTENDANTS

JAPANESE SIDE

1) Evaluation Team

Mr. Takashi NAGAKURA ... Head of Japanese Evaluation Team, Deputy Managing Director Training Affairs Department, JICA.

Ms. Noriko SHIINA ..... Staff of First Training Division Training Affairs Department, JICA.

2) JICA Indonesia Office

Mr. Ahmad Djanan ..... Project Officer

INDONESIA SIDE

1) Cabinet Secretariat

Mr. M. Mursalin Parindury .. Acting Head of Bureau for International Technical Cooperation.

Mr. Adik Bantarso ..... Head of Division for TCDC and ASEAN Program.

Mr. Suprpto ..... Head of Sub-Division for Indonesia TCDC Program.

2) Ministry of Agriculture

Mr. Amrin Zakaria ..... Director of Bureau for Agricultural Personnel Training, AAET.

Mrs. Djedjeh Hadidjah ..... Head of Sub Division for TCDC, AAET.

Mr. Yusmin ..... Head of Section for Climate and Weather, DG Food Crop and Horticulture.

Mr. Memed Haryana ..... Staff of DG Food Crop and Horticulture.

*87*

*Miss*

3) Ministry of Public Works

Mr. Kaman M Ma'mun ..... Project Manager of CGSC,  
DG Water Resources Development

Mr. Kamran Erang ..... Chief of Training Section,  
CGSC, DG Water Resources Development.

87

luop

## SUMMARY REPORT

## I. BACKGROUND

Recognizing the growing need for trained middle management personnel in agricultural development in the Asia and Pacific countries, the Government of Indonesia in cooperation with the Government of Japan initiated training courses on Pest Surveillance and Forecasting, Irrigation and Drainage Engineering and Agricultural Extension Methodology (hereinafter referred to as "PSF", "IDE", and "AEM") under the Third Country Training Programme of JICA which has been carried out since the Japanese Fiscal Year 1990.

The Japanese Evaluation Team visited Indonesia from March 23 to 31, 1994 and held a series of meeting with Indonesian respective implementing agencies.

## II. ITEMS OF EVALUATION

Evaluation were made on the following four items :

1. Course Needs
2. Attainment of Course objectives
3. Adequacy of Course objective
4. Administration and Management

The evaluation were carried out by acquiring information through the following :

1. Discussion with the authorities concerned of Thailand, India, Sri Lanka and Indonesia.
2. Interview with ex-participants from Thailand, India, Sri Lanka.
3. Questionnaire previously sent to the concerned organization of Thailand, India, Sri Lanka.
4. Questionnaire previously sent to ex-participants.

870

WAT

### III. EVALUATION

#### 1. Course Needs

Judging from the application status, it was recognized that the need for those Courses were high. A comparison of the number of applications and selected participants for PSF, IDE, and AEM are 92%, 82%, and 75% respectively. The comparison between applicants and the selected participants is shown in ANNEX-I.

#### 2. Attainment of Course Objectives

Attainment of course objectives were evaluated on the inputs by both governments and the outputs of the Courses.

##### (1) Inputs

###### a. JICA input

###### - Budget

The Government of Japan through JICA had provided funds for bearing the cost for overseas participants which includes international economy-class air fare, accommodation, per-diem, and medical insurance premiums, as well as the expenditure for conducting the Courses such as honoraria for external lecturers, arrangement of meeting and study tours, teaching aids, expendable supplies, copies, reprints, and secretarial services. The total funds provided by JICA from JFY of 1990 to 1993 amounted to approximately US\$ 144,248 for PSF, US\$ 120,818 for IDE, and US\$ 190,140 for AEM.

###### - Dispatch of Japanese experts

To assist the implementing agencies, JICA dispatched five (5) short term experts as lecturer to training course on IDE in the field of Land consolidation and Hydraulic structure, and three (3) short term experts as lecturer to training course on AEM in the field of International Training Course Management. Their name and the subjects are shown in ANNEX II.

87

111

b. Indonesia input

- Budget

The Government of Indonesia had contributed funds to cover local cost for conducting the courses excluding the expenses financed by the Government of Japan.

- Assignment of lecturers and other staff

The implementing agencies assigned adequate number of its members and staff as lecturers and facilitators for the Courses. Lecturers from other organizations were also cooperated in giving lectures for the Courses.

The list of lecturers is shown in ANNEX III.

- Provision of facilities and equipment

The implementing agencies provided training facilities, equipment and other administrative support needed for the Courses.

(2) Outputs

a. Accepted participants

On average, 15 participants were accepted on the Course annually. The accumulated number of participants for the past three years is 41 participants of PSF, 51 participants of AEM, and 45 participants of IDE.

b. Attainment of objectives

- Objectives to be attained

At the end of the Courses, participants were expected: to acquire the technical knowledge and skills for effective irrigation and drainage engineering, agricultural extension, and pest surveillance and forecasting.

- Degree of attainment

Based on the result of the questionnaire disseminated by JICA to the participants, it were indicated that their purpose of attending the Courses were to obtain relevant technical knowledge and

87

WMS

skills on pest surveillance and forecasting, agricultural extension methodology, and irrigation and drainage engineering. The participants found the Courses were useful as a means of sharing their views and experiences with counterparts from Indonesia and the agricultural development in the Asia-Pacific region. The majority of participants also indicate that they applied their knowledge and experiences gained during their programme upon returning to respective countries and had transferred their knowledge and experiences to their colleagues through courses, lectures and publications.

Based on this feedback, it was apparent that the Courses objectives had been attained.

### 3. Adequacy of Initial Plan

#### (1) Course Objectives

Based on the degree of attainment, it can be concluded that the scope of the course objective was adequate.

#### (2) Duration

The training duration of six weeks for the Training Course on PSF and AEM, and five weeks for IDE. These period are considered to be appropriate for the respective course.

#### (3) Qualification of Applicants

The R/D stipulates that applicants for the Course should :

- (1) be nominated by their respective Governments in accordance with the procedure.
- (2) be university graduate or have equivalent academic background.
- (3) have a sufficient command of spoken and written English.
- (4) be under 45 years of age.
- (5) be in good health, both physically and mentally to complete the Course.
- (6) be engaged in or connected to the field of the training course.

Most of the applicants met the above-mentioned criteria. The selection committee selected the participants based on the criteria stipulated in the R/D .

*g 7*

*Wur*



(4) Number of Accepted Participants and Invited Countries

In terms of the capacity of the implementing agencies, the number of participants accepted not more than fifteen was considered adequate.

(5) Curriculum

The level, coverage of subjects and time allocation of lectures, discussions, exercises and observations were judge to be adequate.

(6) Lecturers

The implementing agencies assigned an adequate number of technical and administrative staff as lecturers in the field of pest surveillance and forecasting, agricultural extension methodology, and irrigation and drainage engineering. There were eight Japanese experts dispatched to the training courses.

4. Administration and Management

(1) Measures taken by the implementing agencies.

In organizing and implementing the Courses, the implementing agencies took the following measures :

- (a) To draft, print and forward the General Information brochures (G.I.) of the Course to MFA for dissemination to invited countries.
- (b) To receive application forms and to select appropriate applicants for the Course.
- (c) To formulate the curriculum.
- (d) To assign an adequate number of staff as lecturers and instructors for the Course.
- (e) To provide training facilities and equipment for the Course.
- (f) To arrange accommodation for participants.
- (g) To arrange international air tickets for participants and to meet and see them off at the airport.
- (h) To arrange domestic study tours to be included in the Course.
- (i) To implement budgetary measures to bear the expenses necessary for conducting the Course excluding the expenses borne by JICA.
- (j) To issue certificates to participants who successfully completed the Course.

87

WLP

- (k) To submit a course report and a statement of expenditure to JICA Indonesia Office.
- (l) To coordinate any other matters pertaining to the Course.

These measures have been followed effectively during the courses.

(2) Course Conduct

a. Lecturers

All lecturers had excellent knowledge and instructional abilities.

b. Training Facilities and Equipment

The laboratories, lecture rooms and necessary facilities were provided by the concerned implementing agencies.

c. Training Aids

Training aids such as overhead projectors, slide projectors and video programmes were extensively used by lecturers. Participants were also provided with comprehensive training materials.

d. Curriculum

The Course followed the curriculum agreed upon in the R/D. The curriculum was adequate to achieve the objectives of the courses.

IV. CONCLUSION AND RECOMMENDATION

1. Based on the evaluation, both sides came to the conclusion that the intended purpose of the Course had been successfully and satisfactorily achieved. As a result of the meetings, the following measures were suggested to enhance future courses.

- a. The quantity of GI sent to the invited country should be enough so that the candidates were well informed on any matter related with the Course.
- b. Both the lecturers and the participants should have a good command of English language.
- c. Curriculum should reflect more on practical exercises and field visits as to give the participants opportunity to see the actual implementation of the programmes.
- d. During the courses it would be fruitful if visit to the related institutions such as universities could also be arranged.

87

VW

e. To invite a guest lecturers on specific field from other developing countries especially from the participating country to give the participants opportunity to understand the experiences of those countries.

2. In addition it is considered that continuation of Japanese assistance to the Courses is vital for securing sustainability of the Courses and technological advancement which the Asian and Pacific countries strongly required for the achievement of sustainable agriculture development, particularly in the field of irrigation and drainage engineering, pest surveillance and forecasting, and agricultural extension.

87

W

THE NUMBER OF APPLICANTS AND SELECTED PARTICIPANTS  
TRAINING COURSE ON PSF

No	Country	Total		1990		1991		1992	
		A	B	A	B	A	B	A	B
1	Bangladesh	2	1	-	-	2	1	-	-
2	Bhutan	2	2	-	-	1	1	1	1
3	Brunei DS	2	2	-	-	2	2	-	-
4	India	3	3	-	-	1	1	2	2
5	Malaysia	3	2	2	2	1	-	-	-
6	Nepal	2	2	1	1	-	-	1	1
7	Pakistan	3	2	-	-	2	1	1	1
8	Papua NewGuinea	1	1	1	1	-	-	-	-
9	Philippine	6	5	4	3	2	2	-	-
10	Sri Lanka	3	3	1	1	1	1	1	1
11	Thailand	4	4	2	2	2	2	-	-
12	Vietnam	1	1	-	-	-	-	1	1
13	Cambodia	-	1	-	-	-	-	-	-
14	Laos	1	1	-	-	-	-	1	1
15	Indonesia	12	12	3	3	4	4	5	5
TOTAL		45	41	14	13	18	15	13	13

A = Applicant

B = Selected

THE NUMBER OF APPLICANTS AND SELECTED PARTICIPANTS  
TRAINING COURSE ON AEM

No	Country	Total		1990		1991		1992	
		A	B	A	B	A	B	A	B
1	Malaysia	-	5	2	2	-	1	-	2
2	Brunei DS	-	2	2	2	-	-	-	-
3	Philippines	-	3	1	1	-	2	-	-
4	Thailand	-	6	2	2	-	2	-	2
5	Papua NewGuinea	-	1	1	1	-	-	-	-
6	Tonga	-	-	2	-	-	-	-	-
7	Fiji	-	4	2	2	-	2	-	-
8	West Samoa	-	4	1	1	-	1	-	2
9	Solomon	-	1	2	1	-	-	-	-
10	Pakistan	-	1	1	-	-	-	-	1
11	India	-	3	1	1	-	1	-	1
12	Sri Lanka	-	2	1	1	-	1	-	-
13	Bangladesh	-	2	2	-	-	1	-	1
14	Nepal	-	2	-	-	-	1	-	1
15	Laos	-	1	-	-	-	-	-	1
16	Cambodia	-	1	-	-	-	-	-	1
17	Vietnam	-	1	-	-	-	-	-	1
18	Indonesia	-	12	4	4	4	4	4	4
TOTAL		-	51	24	18	-	16	-	17

A = Applicant

B = Selected

THE NUMBER OF APPLICANTS AND SELECTED PARTICIPANTS  
TRAINING COURSE ON IDE

No	Country	Total		1990		1991		1992	
		A	B	A	B	A	B	A	B
1	Bhutan	3	2	1	1	1	-	1	1
2	Brunei DS	5	2	2	1	2	-	1	1
3	India	2	1	1	1	1	-	-	-
4	Malaysia	6	5	2	1	2	2	2	2
5	Pakistan	4	2	2	1	2	1	-	-
6	Philippines	6	5	2	2	2	1	2	2
7	Sri Lanka	5	4	2	2	2	1	1	1
8	Thailand	3	3	1	1	-	-	2	2
9	Bangladesh	3	3	-	-	2	2	1	1
10	China	2	2	-	-	1	1	1	1
11	Nepal	2	1	1	-	-	-	1	1
12	Cambodia	-	-	-	-	-	-	-	-
13	Vietnam	-	-	-	-	-	-	-	-
14	Papua NewGuinea	1	-	-	-	1	-	-	-
15	Indonesia	17	15	5	5	6	6	6	4
TOTAL		59	45	19	15	22	14	18	16

A = Applicant

B = Selected

SHORT TERM EXPERT  
for Training Course on IDE

JFY	Name	Subject
1990	Mr. S. Kanayana Mr. Mori	Land Consolidation / Land Formation Hydraulic Structure
1991	Mr. S. Kanayana	Land Consolidation / Land Formation
1992	Mr. Genichi Shinonura Mr. M. Yasumaka	Land Consolidation / Land Formation Foundation and Geology

89

W

**SHORT TERM EXPERT**  
for Training Course on AEM

JFY	Name	Subject
1990	Mr. Toshio Hiratsuka	International Training Course Management
1991	Mr. Toshinori Ishikawa	International Training Course Management
1992	Mr. Akira Nakajima	International Training Course Management

*for*

*Mr*



LIST OF LECTURERS  
TRAINING COURSE ON IDE  
1990

No.	Name	Subject	Position
1	M. Hardjono	Introduction to Govern- ment Policy on WRD	Secretary DGWRD Min. Public Work
2	Sunarno MSc	General Condition of Irrigation in Indonesia	Director of Irri- gation, DGWRD
3	T. Haedar A	Remote Sensing	Director, Center for Data Proces- sing.
4	Suroso ND	Remote Sensing	Chief, Remote Sensing Division
5	David Sulai- man	Irrigation Planning	Directorate of Irrigation
6	Waluyono	Country Report	Director of Swamp, DGWRD
7	Mashudi	Hydraulic Structure	Directorate of Irrigation
8	Sukrasno	Hydraulic Structure	Directorate of Irrigation
9	Siswoko	Hydraulic Structure	Directorate of River
10	M. Memed	Hydraulic Structure	Chief, Hydraul ic Exp. Sta.
11	Sumarno	Construction Mngt	Manager of Jra- tunseluna River Basin Project
12	A. Lanti ME	Project Management	Manager of Ja- karta Flood Control Project
13	Kaman M.M.	Orientation to CGSC	Project Manager of CGSC
14	Sutiyadi	Water Management II	Chief, OM Section Dit. Irrigation
15	K. Kinura	General Condition of Irrigation in Japan	Colombo Plan Expert JICA
16	S. Kanayana	Land Consolidation	JICA Expert
17	N o r i	Hydraulic Structure	JICA Expert
18	Suardi	Inventory of Irriga- tion Scheme	Assistant of Com puter, CGSC
19	Trie Nulat S	Engineering Economics	Chief, Project Evaluation, DGWRD
20	Bambang W.	Seminar	Chief, Sub Dir. Construction
21	Winarno P>R.	Seminar	Chief, Sub Dir. of O & M I

No.	Name	Subject	Position
22	Chaizur Nasri	Seminar	Chief, Sub Dir. of Sectoral Co- operation
23	T. Sutopo	MSc Seminar	Chief, Sub Dir. of O & M II
24	Suprpto HE	Construction Manaqmt.	Act. Manager of Palasari Dam
25	Achmadi P.	Farm Water Management	Surabaya Insti- tute Technology

87

Wif

LIST OF LECTURER  
TRAINING COURSE ON IDE  
1991

No.	N a m e	Subject	Position
1	N. Hadjono	Introduction to Govern- ment Policy on WRD	Secretary DGWRD Min. Pub. Works
2	Sunarno MSc	Irrigation in Indonesia	Director of Irri- gation, DGWRD
3	Sunarno PhD	Construction Supervi- sion on Irrigation	Director, Center for Data Proces- sing
4	Suroso MD	Remote Sensing	Chief, Remote Sensing Division
5	Rubini Y MSc	Irrigation Planning	Deputy Director of Irrigation
6	Waluyono	S e m i n a r	Dir. of Swamp DGWRD.
7	Mashudi	Hydraulic Structure	Project Manager Jratunseluna
8	Sukrasno	Hydraulic Structure	Chief of Section I, DOI-I, DGWRD
9	Siswoko	Hydraulic Structure	Chief of Sub Dir Planning, DOR
10	M.Memed	Hydraulic Structure	Chief, Exp. Sta. Hydraulic, IHE.
11	M. Ulama	Environmental Impact	Dir. Jatiluhur Authority
12	Ii Sutaryan	Institutional Develop of Water User Org.	Jatiluhur Autho- rity.
13	Kaman M.M.	Orientation	Project Manager of CGSC
14	Sutiyadi	Water Management II	Chief, O & M , DOI - I.
15	K. Kinura	General Condition of Irrigation in Japan	Colombo Plan JICA Expert
16	S. Kanayana	Land Consoliodation	JICA Expert
17	Ibnu Kasiro	Foundation and Geology	Chief, Hydraul- ic Structure, IHE.
18	Supardiyono	Hydraulic Structure	Chief, Exp. for Geothecnic
19	Sunarto S MSc	Engineering Economics	Chief, Sub Dir. Evaluation.
20	Zainudin	S e m i n a r	Chief, Sub Dir. Planning, DGWRD
21	Winarso	S e m i n a r	Chief, Sub Dir. O & M, DOI-I
22	Ch. Nasri	S e m i n a r	Chief, Sub Dir. Sectoral Coope- ration

*fa*

*WSP*

No.	Name	Subject	Position
23	T. Sutopo MSC	S e m i n a r	Chief, Sub Dir. O & M, DOI-II
24	Suprpto ME	Construction Managmt	Act Manager of Brantas Project
25	Achmadi P	Agricultural Aspect of Irrigation Managmt	Guest Lecturer
26	Tri Wasono	Land Formation	Chief, Sub Dir. of Planning, DOS
27	Hartoyo S MSc	Drainage Planning	Chief, Sub Dir. O & M, DOS
28	C. Sudjana	Groundwater Engineer- ing for irrigation	Chief, Sub Dir. of Groundwater Development.

*Handwritten mark*

*Handwritten mark*

LIST OF LECTURER  
TRAINING COURSE ON IDE  
1992

No	Name	Subject	Position
1	M. Hadjono	Introduction to Govern- ment Policy on WRD	Secretary, DGWRD Min.Public Works
2	Sunarno MSc	Irrigation in Indonesia	Director of Irri- gation I, DGWRD
3	Sunarno PhD	Construction Supervi- sion on Irrigation and Drainage	Director of Cen- ter for Data Pro- cessing
4	Suroso MDS	Remote Sensing	Chief, Division Remote Sensing
5	Rubini Y MSc	Irrigation Planning	Deputy Dir.DOI-I
6	Waluyono	S e m i n a r	Dir. of Swamp, DGWRD.
7	Mashudi	Hydraulic Structure	Project Manager Jratunseluna
8	Sukrasno	Hydraulic Structure	Chief, Section I DOI-I
9	Siswoko	Hydraulic Structure	Chief, Sub Dir. Planning, DOR
10	M. Memed	Hydraulic Structure	Chief, Exp. Sta. Hydraulic, IHE
11	M. Ulama	Environmental Impact	Director Jatilu- hur Authority
12	Ii Sutaryan	Institutional Develp. of Water User Assoc'n	Jatiluhur Autho- rity
13	Kaman M.M.	Orientation	Project Manager CGSC
14	Sutiyadi	Water Management II	Chief, O & M, DOI - I
15	Toshiki Saito	General Condition of Irrigation in Japan	Colombo Plan JICA Expert
16	Genichi Shi- nonura	Land Consolidation	JICA Expert
17	M. Yasunaka	Foundation and Geology	JICA Expert
18	M.Napitupulu	Hydraulic Structure	Chief, Sub Dir. Planning, DGWRD
19	Sunarto S MSc	Engineering Economics	Chief, Sub Dir. Proj. Evaluation
20	Zainudin	S e m i n a r	Chief, Sub Dir. Planning, DOI-I

*Jy*

*W*

**LIST OF LECTURER**  
**First Training Course on Pest Surveillance and Forecasting**  
**1990**

Name of Instructors	Mother Institution	Subject
1. Dr. Ir. Dudung Abdul Adjid	Director General of Food Crop Agriculture	Policey of Plant Protection In Indonesia
2. Dr. Seiji Shindo	CGPRT – ESCAP	Role of Upland Crop in Agriculture Development
3. Dr. Ir. M. Satta Wigenasantana	Director of Food Crop Protection	Principle of Integrated Pest Management
4. Prof.Dr.Ir.Soemartono Sosromarsono	Bogor Agriculture University	The role of Parasite and Predator in Plant Protection
5. Dr. Ir. Aunu Rauf	ditto	Ecological Aspect in plant Protection
6. Dr. Ir. I.N. Oka	Bogor Research Institute for Food Crop	Resistant Variety in plant protection
7. Dr. Ir. J. Soejitno	ditto	The use of pesticida in plant protection
8. Dr. Ir. Sri Suharni Siwi	ditto	Taxonomy and Genetic Characteristics of GLH.
9. Dr. Ir. Kasumbogo Untung	Gajah mada University	Economic Consideration in Plant Protection
10. Ir. V.L. Tjandrakirana	Dit. Food Crop Protection	Implementation of IPM Pest Control
11. Ir. Soeroto	ditto	Implementation of IPM Disease and Weed Control
12. Ir. Haryono Siswomihardjo	ditto	Pesticide Management in Indonesia
13. Ir. M. Rais Zauhari	Dit.Food Crop Protection	Pest Monitoring and Foreccasting in Indonesia
14. Ir. S.W. Gaib Subroto	Dit.Food Crop Protection/ Pest Forecasting Center	BPH Taxonomy and Bioecology

*[Handwritten signature]*

*[Handwritten signature]*

Name of Instructors	Mother Institution	Subject
15. Ir. Mustaghfirin	ditto	Analysis of BPH Light Trap data; Biotype Identification
16. Ir. Firdaus Natanegara	ditto	BPH and Stemborer Early Warning System
17. It. Nyoman Raga	ditto	Distribution of Tungro in Indonesia; Mechanisme of Tungro Transmission
18. Ir. Anik Kustaryati	ditto	Diagnosis and Clases Met of Infected hill, Labore Works
19. Dr. Y. Suzuki	Expert ATA. 162	Forecasting of Tungro Accurence and Its Control Method
20. Ir. Joko Priyono	Dit Food Crop Protection/ Pest Forecasting Center	Biological Characteristics of Rat, Rat Population Dynamic Analysis
21. Ir. Harsiwi T	ditto	Assessment of Rat Damage; rodenticide Exp
22. Ir. Baskoro	ditto	Bacterial Diseases. (BRs, BGR) and their Diagnosis
23. Ir. Sugandhi	ditto	Rice Blast Desease and it Diagnosis
24. Ir. Erma Budiyanto	ditto	Soybean Pest & Sampling Mathod and Absolute Population Estimate
25. Ir. Siti Hidayati	ditto	Soybean Pest and Their Natural Enemis
26. Dr. K. Hirano	Expert ATA. 162	Yield Loss and Control Threshold

89

WMT

**LIST OF LECTURER**  
**Second Training Course on Pest Surveillance and Forecasting**  
**1991**

Name of Instructors	Mother Institution	Subject
1. Dr. Ir. Dudung Abdul Adjid	Director General of Food Crop Agriculture	Food Production Program of Indonesia.
2. Soeharyo Husein SE.	Bureau of Foreign Cooperation, Min. Agriculture	General Feature of Agricultural Development in Indonesia.
3. Dr. Ir. M. Satta Wigena Santana	Director. of Food Crop Protection	1. Principle of Integrated Pest Management. 2. Policy of Plant Protection in Indonesia.
4. Prof. Dr. Ir. Soemartono	Bogor Agriculture University	The role of Parasite and Predator in Plant Protection.
5. Dr. Ir. Aunu Rauf	ditto	Ecological Aspect in Plant Protection
6. Dr. Ir. Ida Nyoman Oka	Bogor Research Institute for Food Crop.	Resistant Variety in Plant Protection.
7. Dr. Ir. J. Soejitno	ditto	Research activities related with the Implementations of IPM.
8. Dr. Ir. Sri Suharni Siwi	ditto	Taxonomi and Genetic Characteristics of GLH/BPH.
9. Dr. Ir. Kasumbogo Untung	Gajah Mada University	Economic Consideration in Plant Protection
10. Ir. V.L. Tjandrakirana	Dit. Food Crop Protection	Implementation of IPM on Pest Control
11. Ir. Yuli Hartono MSc.	ditto	Implementation of IPM on Disease and Weed Control
12. Ir. Daryanto WS	ditto	Pesticide Management in Indonesia
13. Yusmin, MSc.	Dit. Food Crop Protection	Pest Monitoring and Forecasting in Indonesia

*JE*

*WMA*



Name of Instructors	Mother Institution	Subject
14. Ir. S. W. Gaib Subroto	Dit. Food Crop Protection/ Pest Forecasting Center	BPH Taxonomy and Bioecology
15. Ir. Mustaqhfirin	ditto	Analysis of BPH Light Trap data Biotype Identification
16. Ir. Firdaus Natanegara	ditto	BPH and Stembor Early Warning System.
17. Ir. Nyoman Raga	ditto	Distribution of Tungro in Indonesia; Mechanisme of Tungro Transmision.
18. Ir. Anik Kustaryati	ditto	Diagnosis and Clases Method of Infected hill, Laboratory Works.
19. Dr. H. Sawada	Expert ATA. 162	Forecasting of BPH Occurence and Its Control Method.
20. Ir. Joko Priyono	Dit. Food Crop Protection/ Pest Forecasting Center	Biological Charateristics of Rat, Rat Population Dinamic Analysis.
21. Ir. Harsiwi T.	ditto	Assesment of Damage; Roden cide Exp.
22. Ir. Baskoro	ditto	Bacterial Disases (BRS, BGR) and their Dianosis
23. Ir. Sughandi Zaenuddin	ditto	Rice Blast Dease and it Dianosis.
24. Ir. Erma Budiyanto	ditto	Soybean Pest Sampling Meth and Absolut Populasi Esmate.
25. Ir. Daniar Triwulandari	ditto	Soybean Pest Their Natural Enemis.
26. Dr. K. Hirono	Expert ATA. 162	Yield Loss an Control Thres shold.

07

Vur

**LIST OF LECTURER**  
**Second Training Course on Pest Surveillance and Forecasting**  
**1992**

Name of Instructors	Mother Institution	Subject
1. Dr. Ir. Dudung Abdul Adjid	Director General of Food Crop Agriculture	Food Production Program of Indonesia.
2. Ir. Subiyanti MSc.	Bureau of Foreign Cooperation, Min. Agriculture	General Feature of Agricultural Development in Indonesia.
3. Dr. Ir. M. Satta Wigena Santana	Director. of Food Crop Protection	1. Principle of Integrated Pest Management. 2. Policy of Plant Protection in Indonesia.
4. Prof. Dr. Ir. Soemartono	Bogor Agriculture University	The role of Parasite and Predator in Plant Protection.
5. Dr. Ir. Aunu Rauf	ditto	Ecological Aspect in Plant Protection
6. Dr. Ir. J. Syafrida M.	Bogor Research Institute for Food Crop.	Resistant Variety in Plant Protection.
7. Dr. Ir. J. Soejitno	ditto	Research activities related with the Implementations of IPM.
8. Dr. Ir. Kasumbogo Untung	Gajah Mada University	Economic Consideration in Plant Protection
9. Ir. V.L. Tjandrakirana	Dit. Food Crop Protection	Implementation of IPM on Pest Control
10. Ir. Tuti Hendrawati MPPM	ditto	Implementation of IPM on Disease and Weed Control
11. Ir. Yuli Hartono MSc.	ditto	Pesticide Management in Indonesia
12. Ir. S.W. Gaib Subroto	ditto	Pest Monitoring and Forecasting in Indonesia

*Handwritten signature*

*Handwritten signature*

Name of Instructors	Mother Institution	Subject
13. Yusmin, MSc.	ditto	Introduction to Indonesia Language
14. Ir. Mustaqfirin	ditto	Analysis of BPH Light Trap; data Biotype Identification
15. Ir. Firdaus Natanegara	ditto	BPH and Stemborer Early Warning System.
16. Ir. Nyoman Raga	ditto	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Distribution of Tungro in Indonesia; Mechanisme of Tungro Transmision.</li> <li>- Diagnosis and Clases Method of Infected hill, Laboratory Works.</li> </ul>
20. Ir Joko Priyono	ditto	Biological Charateristies of Rat, Rat Population Dinamic Analysis.

*J 4*

*W 4*

**LIST OF LECTURES**  
**First Training Course on Agricultural Extension Methodology**  
**1990**

No	Nama	Institution	Subject
1	Ir. Salmon Padmanagara	Agency for Agricultural Education and Training	Agricultural Extension World Wide
2	Dr. Ruyat Wiraatmadja	Bureau of International Cooperation Ministry of Agriculture	General Information (Social, Cultural, Economic and Political) in Indonesia
3	Dr. Murasa S	Bureau of Agricultural Planning Ministry of Agriculture	Policies & Strategies of Agricultural Development in Indonesia
4	Drs. Abdurrazak	Bureau of Agric. Personal Training AAET	Policies & Strategies of Agricultural Personal Training in Indonesia
5	Dr. Kartika Alamanda	National Agricultural Training Institute (BPLP) Ciawi	Competency Based Curriculum Dev.
6	Mansyur Al-Rasyid	National Agricultural Training Institut (BPLP) Ciawi	Rural Youth & Farm Women Dev.
7	Dr. Iwan Rifianto, MA	Agency for Agricultural Education and Training	General Features and Dev. of Agric. in Indonesia
8	Dr. Djodjo Suhardjo	National Agricultural Training Institute (BPLP) Ciawi	Social and Cultural Characteristic Farming Communities in Indonesia
9	Dr. Sumitro Arintadisastra	Bimas Directing Board	Research - Extension - Farming System
10	Dr. A. Soedradjat Martaatmadjaja	Bureau of Agric. Extension, AAET	Strucrur of Agric. Extension System in Indonesia
11	Dr. Rochayat Harun	Representative Office of Min. of Agric. West Java Province	Approach and Strategies of Agric. Extension in Indonesia
12	Dr. Wachyudin	Food Crops Research & Dev.	Tech. Dev. for Small Scale Farming
13	Dr. Prabowo	Agency for Agric. Research & Dev.	Organizatio of Tech. Transfer
14	Dr. Azril Azahari	Agency for Agricultural Education and Training	Training Monitoring and Evalution
15	Dr. Amrin Zakaria	Agency for Agricultural Education and Training	Agric. Extension Rekomendation and Message Formulation
16	T.O. Sumarna, M.Ed	Regional Agric. In-Service Training Center (BPLP) Citea, West Jawa	Training Staff Development
17	Dr. Ade Juhara	National Agricultural Training Institute (BPLP) Ciawi	Major Approach and Methods of Agric. Training in Indonesia
18	Ir. Budiharti, M.Sc.	National Poultry In-Service Training Service (BPLP) Ciawi	Major Approach and Methods of Agric. Training in Indonesia

No	Nama	Institution	Subject
19	Haris, M.Sc	National Agricultural Training Institute (BPLP) Ciawi	Skill Element Analysis and Packaging
20	Ir. Sumidjo, MA	National Agricultural Training Institute (BPLP) Ciawi	Skill Element Analysis and Packaging
21	Dr. Sri Rukmi	National Agricultural Training Institute (BPLP) Ciawi	Adult Education Training Method (Andragogy/ELC)
22	Ir. Asep Suryaman	National Agricultural Training Institute (BPLP) Ciawi	Adult Education Training Method (Andragogy/ELC)
23	Ir. Rodiah	National Agricultural Training Institute (BPLP) Ciawi	Adult Education Training Method (Andragogy/ELC)
24	Ir. Toto Sumarta KS	Regional Agric. In-Service Training Center (BPLP) Wonocatur, Yogyakarta	Field Laboratory
25	Ir. Ani Andayani	Regional Agric. In-Service Training Center (BPLP) Wonocatur, Yogyakarta	Field Laboratory
26	Ir. Haryanto	Regional Agric. In-Service Training Center (BPLP) Cihea, West Java	On-Campus Trial
27	Ir. Yogaswara	Regional Agric. In-Service Training Center (BPLP) Cihea, West Java	On-Campus Trial
28	Dr. Soedijanto	Regional Agric. In-Service Training Center (BPLP) Ungaran, West Jawa	Skill Training Technique and Performance Evaluation
29	Syamsian Marzuki, MA	National Agricultural Training	Skill Training Technique and Performance Evaluation

87

W

**LIST OF LECTURES**  
**Second Training on Agricultural Extension Methodology**  
**1991**

No	Nama	Institution	Subject
1	Gustina Agus	Agency for Agric. Education and Training (AAET) Jakarta	- Ice Breaking - Trainee Expectation - Group Building
2	Ir. Dadang Udju	ISTC Ciawi - Bogor	- Ice Breaking - Trainee Expectation - Group Building
3	Dr. Ruyat Wiratmadja	Bureau of International Cooperation Min. of Agriculture	- Agric. Sector and its dev. Strategies in Indonesia - Agric. Extension Planning Techn.
4	Ir. Sejati Sukatendel	Bureau of Agric. Reserch and AAET - Jakarta	- Agric. Extension System and Approach in Indonesia - Agric. Extension Method Applied in Indonesia
5	Dr. Ida Nyoman Ika	Agency for Agric. Research and Development	- Human Resources Development Approach in IPM
6	Richard Beresford, B.Sc	Income Generating Project for Small Farmer and Landless	- Agric. Extension Monitoring and Evaluation
7	Ir. Tarya Kusnadi	Bureau of Agric. Extension AAET - Jakarta	- Farmers Group Development - Agric. Cooperative Development - Rural Youth Development - Farm Women Development
8	RRM. Sianipar	Bureau of Agric. Extension AAET - Jakarta	
9	Ir. Mariam Rikhana, MS	Bureau of Agric. Extension AAET - Jakarta	
10	Syamsiah Marzuki, MA	In-Service Training Center Ciawi - Bogor	- Bahasa Indonesia
11	Ir. Budiharti, M.Sc	In-Service Training Center Ciawi - Bogor	
12	Ir. Subangkit Mulyono	In-Service Training Center Ciawi - Bogor	
13	Dr. Syarifuddin Karamai	Agency for Agric. and Development	- Research Extension Linkage
14	Dr. Amrin Zakaria	Agency for Agric. Personal Training - AAET	- Agricultural Extension Recommendation and Message Formulation
15	Ir. Ooy Sunarya, M.Ed	Bimas Directing Board Jakarta	- Audio Visual Aid Preparation and Utilization

*Handwritten signature*

*Handwritten signature*

No	Nama	Institution	Subject
16	Drs. Abdurrazak	Agency for Agric. Personal Training -- AAET	- Education and Training for Extension Worker
17	Dr. Ade Djuhana	In-Service Training Center (ISTC) Ciawi -- Bogor	- Approach and Method of Agricultural Training
18	Ir. Budiharti, M.Ed	In-Service Training Center (ISTC) Ciawi -- Bogor	- Audio Visual Aids Preparation and Utilization - Agricultural Training Monitoring and Evaluation
19	Dr. Sumitro A	Bimas Directing Board Jakarta	- Extension Strategies for Rainfed Agricultural Development
20	T.O. Sumarna, M.Ed	ISTC Cihea -- Cianjur	- Training Need Assessment - Curriculum Development
21	Dr. Sri Rukmi	Agency for Agric. Education and Training (AAET) Jakarta	- Experience Learning Cycle (ELC)
22	Dr. Soediyanto	ISTD -- Ungaran -- Central Java	- Skill Element Analysis and Performance Evaluation
23	Haris, M.Sc	In-Service Training Center (ISTC) Ciawi -- Bogor	- Skill Element Analysis and Packaging
24	Ir. Sumija	In-Service Training Center (ISTC) Ciawi -- Bogor	
25	Ir. Haryanto	ISTC Cihea -- Ciajur	- Field Laboratory
26	Ir. Yogaswara	ISTC Cihea -- Ciajur	- On Campus Trial
27	Ir. Ani Andayani	ISTC Wonocatur Yogyakarta	- Training Need Assessment - On Campus Trial and Field Lab.
28	Ir. Toto Suamrta KS	ISTC Wonocatur Yogyakarta	- Training Need Analysis and Recommendation
29	Drs. Suwarsono Rachmat	Farmers Group -- Sleman	- Fish farming System
30	Ir. Hilman	LPP Yogyakarta	- Nucleus Estate Smallholder Project (NES)

89

W

**LIST OF LECTURES**  
**Third Training Course on Agricultural Extension Methodology**  
**1992**

No	Nama	Institution	Subject
1	Mrs. Gustian Agus	Agency for Agric. Education and Training (AAET)	- Ice Breaking - Andragogy/ELC
2	Syamsiah Marzuki, MA	NATI Ciawi	- Ice Breaking
3	Ir. Budiharti	ISTC Ciawi	- Bahasa Indonesia and Cultural Belief
4	Ir. Subiyanto Marwoto	Bureau of International Cooperation, Min of Agric.	Agric. Sector and Its Development Strategies in Indonesia
5	Dr. Ruyat Wiraatmaja	Bureau of International Cooperation, Min of Agric.	- Agric. Extension Planning Technique - Agric. Extension Monitoring and Evaluation
6	Dr. A. Soedradjat M	Bureau of Agricultural Extension, AAET	Agric. Extension System in Indonesia
7	Dr. Ida Nyoman Oka	Agency for Agric. Research and Development	Human Resources Dev. Approach in IPM
8	Dr. Syarifuddin Karamai	Agency for Agric. Research and Development	Research - Extension Linkage
9	Dr. Ooy Sunarya	Agency for Agric. Institut Education and Training	- Education and Training Programme for Extn. Worker - Agric Extension Recommendation and Message Formula - Agric. Extension Method applied in Indonesia
10	Dr. Aida Vitalaya	Bogor Agric. Institute (IPB)	Woman Participation in rural Development (Gender issues)
11	Ir. Zahir Zahri	Lembang Agric. Information Centre	Audio Visual Aids Preparat and Utilization
12	Dr. Sumitro	Bimas Directing Board	Extension Strategies for Rainfed Agric. Development
13	Dr. Saleh Syafradji	Ministry of Coopertive	Agric. Cooperative Development
15	Dr. Iwan Riliato, MA	Agency for Agric. Education and Training (AAET)	Training Programming and Bugeting
16	Dr. Abdurrazak	Agency for Agric. Education and Training (AAET)	Agric. Personal Training Policy
17	T.O Sumarna, M.Ed	ISTC Cihea	- Approach and Method of Agric. Training Policy - Curriculum Development



No	Nama	Institution	Subject
18	Haris, M.Sc	NATI Ciawi	- Training Need Assessment
19	Ir. Sumidjo	NATI Ciawi	- Skill Element Analysis Packaging
20	Ir. Nunu Jumena	ITC Soropadan	Skill Training Techn. and Performance Evaluation
21	Ir. Toto Sumarta	ISTC Wonocatur	- Field Laboratory - On-Campus Trial

02

Wu

RESULTS OF THE QUESTIONNAIRES TO  
EX-PARTICIPANTS OF THE RESPECTIVE COURSE  
TRAINING COURSE ON IDE  
(JFY 1990-1992)

## A. EDUCATION

1. Before Training	:	a. Ph.D	=	6%
		b. Master	=	38%
		c. Bachelor	=	56%
2. After Training	:	a. Master	=	6%
		b. Bachelor	=	-
		c. Training	=	18%

## B. WORKING EXPERIENCE

1. Nature of Job	:			
		a. Research / Inspection	=	37.5%
		b. Instruction	=	37.5%
		c. Production	=	25.0%
		d. Administration	=	37.5%
2. Personal Improvement After Training	:			
		a. Yes improved (a lot)	=	44%
		b. Yes improved (somewhat)	=	56%
		c. No improvement	=	-
3. The Aspect of Personal Improvement	:			
		a. Work Conditions	=	31%
		b. Responsibility	=	25%
		c. For Future Prospects	=	44%
		d. Salary Wise	=	-
		e. Other Better Jobs	=	-
		f. Content of Work	=	18%
		g. Professional Recognition	=	25%
		h. International Contact	=	-
4. The Usefulness of Training Course	:			
		a. Very Useful	=	56%
		b. Useful	=	37.5%
		c. Less Useful	=	-

87

Wif

5. The Reason Why Very Useful :
  - a. Influence of the most advanced technology in Indonesia = -
  - b. Improvement in the technical knowledge = 25%
  - c. Exchanging views of experience and knowledge among participants = 37.5%
  - d. Contact with the Indonesian Culture = 6%
  - e. Others = 31.5%
  
6. The Beneficial Subjects :
  - a. For Actual Work :
    - Irrigation water management = 56%
    - Construction management = 19%
    - Project management = 12%
    - Land consolidation = 12%
  
  - b. For Knowledge :
    - Irrigation in Indonesia = 25%
    - Seminar/country report = 25%
    - Remote sensing = 12%
    - Field Observation = 12%
  
7. Ability to Pass The Skill to Anyone :
  - a. Fully (85%) = 6%
  - b. Majority (75%) = 18%
  - c. Partly (50%) = 58%
  - d. Slightly (25%) = 18%
  
8. Possible Participation in Refreshment Course :
  - a. Participate = 87.5%
  - b. No Participate = 12.5%
  
9. The Pending Problems in Promoting The Training Field; due to lack of :
  - a. Trained Personnel = 6%
  - b. Equipment = 25%
  - c. Funds = 50%
  - d. Research Facilities = 19%
  - e. Foreign Expert = 12.5%
  - f. Foreign Currency = 12.5%

07

WMA

RESULTS OF THE QUESTIONAIRES TO  
EX-PARTICIPANTS OF THE RESPECTIVE COURSE  
TRAINING COURSE ON AEM  
(JFY 1990-1992)

## A. EDUCATION

1. Before Training	:	a. Ph.D	=	6%
		b. Master	=	40%
		c. Bachelor	=	27%
		d. Diploma	=	27%
2. After Training	:	a. Master	=	6%
		b. Bachelor	=	-
		c. Training	=	34%

## B. WORKING EXPERIENCE

1. Natural of Job	:			
		a. Research / Inspection	=	67%
		b. Instruction	=	100%
		c. Production	=	34%
		d. Administration	=	87%
2. Personal Improvement After Training	:			
		a. Yes improved (a lot)	=	67%
		b. Yes improved (somewhat)	=	26%
		c. No improvement	=	7%
3. The Aspect of Personal Improvement	:			
		a. Work Conditions	=	20%
		b. Responsibility	=	46%
		c. For Future Prospects	=	20%
		d. Salary Wise	=	-
		e. Other Better Jobs	=	13%
		f. Content of Work	=	34%
		g. Professional Recognition	=	46%
		h. International Contact	=	34%
4. The Usefulness of Training Course	:			
		a. Very Useful	=	73%
		b. Useful	=	27%
		c. Less Useful	=	-

87

WSP

5. The Reason Why Very Useful :
  - a. Influence of the most advanced technology in Indonesia = 6%
  - b. Improvement in the technical knowledge = 40%
  - c. Exchanging views of experience and knowledge among participants = 13%
  - d. Contact with the Indonesian Culture = -
  - e. Others = 31.5%
  
6. The Beneficial Subjects :
  - a. For Actual Work :
    - Training needs assesment = 40%
    - Introduction to Andragogy = 34%
    - Human resource development = 20%
  
  - b. For Knowledge :
    - Field visit = 13%
    - Agricultural extension in Indonesia = 6%
    - Skill element analysis = 6%
    - Country report = 6%
  
7. Ability to Pass The Skill to Anyone :
  - a. Fully (85%) = -
  - b. Majority (75%) = 46%
  - c. Partly (50%) = 40%
  - d. Slightly (25%) = 13%
  
8. Possible Participation in Refreshment Course :
  - a. Participate = 100%
  - b. No Participate = -
  
9. The Pending Problems in Promoting The Training Field; due to lack of :
  - a. Technical Literature = 20%
  - b. Equipment = 46%
  - c. Funds = 73%
  - d. Transport Facilities = 27%
  - e. Foreign Expert = 20%
  - f. Political Situation = 20%
  - g. Support Supervisor = 27%

07

Wp

RESULTS OF THE QUESTIONNAIRES TO  
EX-PARTICIPANTS OF THE RESPECTIVE COURSE  
TRAINING COURSE ON PSF  
(JFY 1990-1992)

## A. EDUCATION

1. Before Training :	a. Ph.D	=	33%
	b. Master	=	33%
	c. Bachelor	=	25%
2. After Training :	a. Master	=	-
	b. Bachelor	=	-
	c. Training	=	33%

## B. WORKING EXPERIENCE

1. Natural of Job :			
	a. Research / Inspection	=	92%
	b. Instruction	=	41%
	c. Production	=	25%
	d. Administration	=	41%
2. Personal Improvement After Training :			
	a. Yes improved (a lot)	=	58%
	b. Yes improved (somewhat)	=	42%
	c. No improvement	=	-
3. The Aspect of Personal Improvement :			
	a. Work Conditions	=	17%
	b. Responsibility	=	17%
	c. For Future Prospects	=	8%
	d. Salary Wise	=	-
	e. Other Better Jobs	=	-
	f. Content of Work	=	66%
	g. Professional Recognition	=	-
	h. International Contact	=	25%
4. The Usefulness of Training Course :			
	a. Very Useful	=	66%
	b. Useful	=	34%
	c. Less Useful	=	-

*07*

*W*

5. The Reason Why Very Useful :
- a. Influence of the most advanced technology in Indonesia = -
  - b. Improvement in the technical knowledge = 50%
  - c. Exchanging views of experience and knowledge among participants = 50%
  - d. Contact with the Indonesian Culture = 17%
  - e. Others = -
6. The Beneficial Subjects :
- a. For Actual Work :
    - Pest monitoring = 33%
    - IPM farmer school = 25%
    - Pest and natural enemy identification = 17%
  - b. For Knowledge :
    - Pest forecasting = 17%
    - Sampling methods = 17%
    - Plan protection in Indonesia = 8%
    - Rate management = 8%
    - Pesticide management = 8%
7. Ability to Pass The Skill to Anyone :
- a. Fully (85%) = 8%
  - b. Majority (75%) = 58%
  - c. Partly (50%) = 25%
  - d. Slightly (25%) = 8%
8. Possible Participation in Refreshment Course :
- a. Participate = 92%
  - b. No Participate = 8%
9. The Pending Problems in Promoting The Training Field; due to lack of :
- a. Trained Personnel = 66%
  - b. Equipment = 41%
  - c. Funds = 66%
  - d. Research Facilities = 50%
  - e. Foreign Expert = 25%
  - f. Foreign Currency = -
  - g. Poor Management = 33%
  - h. Technical Literature = 25%
  - i. Support Supervisor = 17%











JICA